NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事を利用したり、新聞作りを取り入れたりした国語の授業

2．学校名

長野県大町市立第一中学校

3．実践者名（代表者名）

中山実

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　400人

6．単元（本時の学習課題）名

コラムを書き取ろう

7．目標(狙い)

早く正確に書き取る

8．評価の視点

5分間で、読み取れる文字で、どれだけ視写できるか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

基礎的・基本的な学力を高めるドリル学習の時間　毎時間授業開始より5分間　年間約5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

授業開始より5分間(年間約5時間),新聞の1面コラムの全文書き取りを行った。教師が「始め」「終わり」指示している。視写の後、各自字数を数えコラムを貼り付けた横に記録した。4月当初は朝日新聞「天声人語」6月より信濃毎日新聞「斜面」を利用した。また、視写記録のあと、音読み、教師が板書した難語句や慣用句、熟語の確認などを行った。速さばかりに目のいかないよう、読める文字であるか、注意を促しながら進めた。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

今日はどんな記事なのか、楽しみになった。文字を書くのが早くなった。漢字が読めるようになった。など

12．成果と課題

新聞記事の展示とともにあいまってか、全く新聞を読まなかったが、時々読むようになったと答える生徒が多くなった。

文字を書くのが早くなったと同時に、音読みがスムーズになった。漢字の読み誤りも少なくなってきている。

速さに目がいった生徒は、文字が雑になってしまう。3年生では美しい文字で速く書ける生徒が多くなった。学年さも考えた指導が必要である。